

科目名	商法総則・商行為法 General Provisions of Commercial Law and Commercial transactions Law						
科目担当者	毛利 朋美 MOURI Tomomi						
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目] 他学部他学科履修○					ディプロマポリシーとの 関連	(3)(4)
授業の概要	<p>商法は、商人間（企業間）の商取引に関するルールを定めた法律ですが、商人（企業）と私たち一般消費者との間の取引にも適用されます。この授業では、商法のうち、総則部分と商行為部分に関して、その基本的な内容を理解してもらうために、具体例を挙げながら、講義を行います。</p> <p>本講義では Moodle 内で資料を配布し、これに基づいて解説します。詳しい内容は「授業計画・内容」の欄を参考にして下さい。</p>						
授業の到達目標	<p>① 商人・商行為について、その基本概念を理解することができている。</p> <p>② 商法総則・商行為法の内容について、制度趣旨の全体像を把握することができている。</p>						
授業計画・内容	1	イントロダクション / 『頼んだ荷物が問題なく届く』ことを商法に沿って考えてみよう					
	2	商法総則・商人					
	3	商業登記					
	4	商号・商業帳簿・計算書類など					
	5	商業使用人・会社の使用人と代理商					
	6	商行為の代理と委任					
	7	商行為法総則①					
	8	商行為法総則② / 課題の解説					
	9	商事売買：『12月26日のクリスマスケーキ』の責任は誰にある？					
	10	商法・企業法務の世界をのぞいてみよう（売買契約書の作成）					
	11	交互計算・匿名組合					
	12	仲立と取次（仲立営業、問屋営業、運送取扱営業）					
	13	運送営業（物品運送、旅客運送）					
	14	倉庫営業、場屋営業					
	15	まとめ / 課題の解説					
授業外学修 (事前学修)	事前の学修としては、2時間程度、講義タイトルからその分野の文献を読んでおくことが望ましい。その際、必ず、関連条文を「六法」で確認しておくこと。						
授業外学修 (事後学修)	事後の学修としては、2時間程度、授業の内容を振り返るとともに、関連条文を「六法」で再度確認しながら、授業内容の知識を確実なものにしておくこと。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	授業中の小テスト 2回の課題の提出					50% 50%	①、② ①、②
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	講義内で「六法」や、オンラインでの条文検索を使用します。						
参考文献	<p>松嶋隆弘=大久保拓也著『商事法講義 2 商法総則・商行為』（中央経済社、2020年）</p> <p>柳明昌編著『プレステップ会社法〈第2版〉』（弘文堂、2023年）</p>						
その他	「民法総則」、「債権総論」、「契約総論」の学習の復習をしておくことが望ましい。						